

平成29年度 山口県文書館古文書実践講座テキスト

1 大村益次郎の生涯を読む (1)

— 当館蔵「大村益次郎文書」から —

村田景清公の御書

公御書に御書に御書に御書

作書に御書に御書に御書

平賀長門守の御書

○御書に御書に御書

自筆に御書に御書

○御書に御書に御書

御書に御書に御書に御書

○御書に御書に御書

御書

御書

○大村 14

(1922.12.20)

※ 大村 14

口雄公

村田 蔵六

長子 清太郎 蘭 金 筆 殿

製 後 皇 子 宗 修 筆 殿

長子 清太郎 蘭 金 筆 殿

長子 清太郎 蘭 金 筆 殿

長子 清太郎 蘭 金 筆 殿

長子 清太郎 蘭 金 筆 殿

長子 清太郎

○大村 19.2

(五政三)

※可和鳥種

村田廣之丞

村田廣之丞

村田廣之丞

村田廣之丞

村田廣之丞

村田廣之丞

村田廣之丞

村田廣之丞

○大村 19-1

(1553)

×字和意道

村田殿之儀 御座候事

書 行 御座候事

行 御座候事

清建勳 御座候事

了俊 御座候事

了俊 御座候事

了俊 御座候事

了俊 御座候事

了俊 御座候事

了俊 御座候事

春打神昏中夜起如常

行路如行舟中夜起如常

仕途如行舟中夜起如常

正行舟

一 吏人

一 五柳先生

一 後新料

一 小遊

白雲送客

一 讀書人

一 三月金成

〇大村 12

(伝安 3/1)

水戸藩御用

小性 漢

集文 村田 藏六

書道集 卷之三

信守 漢 漢 精 集 卷之三

宣平 漢 漢 漢 漢 漢

中 漢 漢 漢 漢 漢

中 漢 漢

心 張 以 終 終

終 終 終 終 終

終 終 終 終 終

終 終 終 終 終

終 終 終 終 終

終 終 終 終 終

終 終 終 終 終

終 終 終 終 終

終

(終 終 終 終 終)

終

村 田 終 終

之 浦 終 終

終 終 終 終

○大村 16-1

(文久元、2)

※幕府

浪子校

村田藏六

講義不白正出

業書講義根筋

以舟为比腰突

弟久大私学教

江渡山渡中渡

(岩城子川部)

村田藏六

○大村 16-4
(文久元 23)
※幕府

村田藏六

原田敬策

講官頭子若西洋

名書撰類之校言

大和弓殿宮御渡

修下渡

(幕府了了)

村田藏六
原田敬策

銀拾枚
村田虎六

薄武野蓄書

取銀、信用出務

在勤山、竹、石、山、有

梅中、古、殿、立、仰、渡、山

信、口、渡

(銀、口、山、野、蓄)

村田虎六

16-2

※幕府

源孫移

村田彦六
原田吾一

講武所著書取調
正用貴相勤行爲
正褒美正平公尊書殿
弘作渡依之渡

(横濱子爵邸)

村田彦六
原田吾一

洋用之後

明日三日書調

下長谷澤一郎殿

平中後二付以候

中道以上

九月廿二日

(警) (野)

村田六及
松野三平二
野正之助

※藤府

軍政規律諸書

より参考し之を以て取調

下

右和泉守河内守殿

申之時限了候

二月

(藤府の御書)

村田藏六
原田吾一

○大木 15-3
(文久元年)

村口整

大正續原

一

一

利

一

一

一

一

村口整
一

一筆才力富

深心仲尾五

去留只此修

江州集云

去金上只

福相模

記仍

足為

衆常

村田

○大村 17-1

(1228元)

子
二月廿七

村田藏去

大装條虎舟方陳

佳士雅別為因私

三
作
行
年

○大村 17-2

(元)

平

村田 権六

孝正 子教授 級

信守 子校

入子 信守

○大村 17-3

(17-3A12)

子
子
子

馬
馬
馬

村
村
村

大
大
大

日
日
日

年
年
年

○大村 17-5
(元治元)

立

村田

右

調

○大村 10
(元治元年 7/5)

大村 10

村田 龍興

大村 10

大村 10

大村 10

大村 10

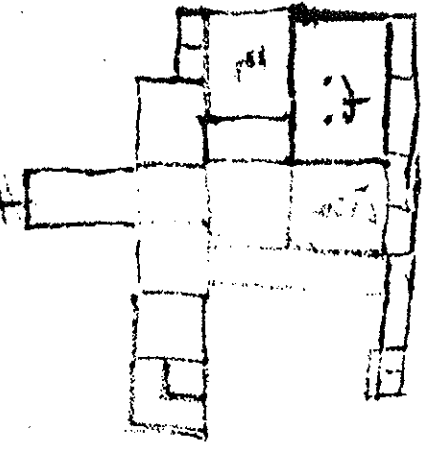
大村 10

大村 10

尊禮之心
卷心
連波
送
行
公
河
海
山
高

此以年終心
則已無所
海居防衛
何此心而
為年向此
利之生理
亦非道子
一生所
此子能

○大村 17-6
(元浴元 8/)



書
回
元
元
元

大
少
の
中
の
中
の
中
の
中

大
少
の
中
の
中
の
中
の
中

○大村 17-8
(天保元)

子、八、月、廿、六

村田 龍六

右、以、政、務、所、長

右、用、法、團、長、也

軍、政、引、陳、計

「、佐、計、事、」

大村 17-11

(元巻元)

村回覧

大村回覧

大村回覧

(巻元)

子ノ
大村回覧